

果てしない絵物語

玉分昭光 版画展

白い紙や銅板を見つめると、いろいろな物が浮き出てきます。

それを一つ一つ捕まえるようにして描くと、

いつの間にか絵の中に物語ができあがります。

そして、日々の生活の中でふと目にした

風景や物をスケッチしてみると、

いろいろな物語が生まれてくるようになりました。

散居村の家を描くとそこには双子の少年が、

水車を描くと魔女が落ちてきて、

紙や版を見つめるとたくさんの物語が見えてきます。

金沢湯涌創作の森に私の作品を並べてみたら、

まるでこのギャラリーがお家のように見えてきました。

また、素敵な物語が生まれそうです。



「富山ストーリー ー散居村ー」2017年 80cm×60cm

2017

入場無料

8/11 fri - 27 sun

10:00~17:00(最終日は15:00まで)火曜休館
金沢湯涌創作の森ギャラリー

創 金沢湯涌
Kanazawa Yuwaku Sousaku no Mori Center for Crafts and Culture
創作の森

〒920-1135 石川県金沢市北袋町エ36番地 TEL:076-235-1116 / FAX:076-235-1070
✉ y-sousaku@city.kanazawa.ishikawa.jp

「果てしない絵物語」 玉分昭光 版画展

金沢湯涌創作の森では、平成29年度かもしかアートフェスティバル夏季特別展として玉分昭光の個展を開催いたします。玉分昭光は、銅版画の技法を主体として表現活動をしている作家です。作品の背景にあるのは、常に自身の記憶や家族の歴史、あるいはその「縁(えにし)」にまつわる何ものかであり、それをそのまま作品に反映させながら、時に混沌とした内省的世界を、時に光にあふれたファンタジーを、あるいはそれらが共存する独特の画面を生み出しています。この物語性の強い画面は、日本のみならず、ヨーロッパからアジアにまたがる数多くの国際展で評価されてきました。

本展では、銅版画のみならず、紙版画、日本画などの作品を併せて展示しながら、空想と現実が交差する独自の世界を「果てしない絵物語」のタイトルのもと、ご案内いたします。

玉分 昭光(たまわけ あきみつ)

富山県入善町在住

- 1975 岐阜県多治見市生まれ
- 2000 富山大学大学院教育学研究科美術教育 修了、タイ王立美術大学 講師/04
- 2003 タイ王国芸術省視覚障害児向け絵本製作プロジェクト、デザイン担当
- 2004 「Little Prints OTTOTTO」アニメーション展 ラジャタアートハウス タイ王国
- 2007 第4回ふくみつ 榎方記念版画大賞展 奨励賞
富山現代作家シリーズ「時の中で」富山近代美術館
- 2008 文部科学省REX東京外国語大学研修後日本語日本文化教授のためブラジルへ(2年)
ドイツ国際版画トリエンナーレ フレッヘン美術館
バンコクトリエナーレ国際版画ドローイング展 シラパコーン大学美術館
- 2009 ANA国際環境絵本コンクール 佳作賞
- 2010 金沢市湯涌創作の森版画工房銅版画講師
- 2011 ラマ4世工業大学芸術学部 招聘講師
- 2012 「garden—そこにあるものと関わること—」入善町下山発電所美術館
台湾国際版画ビエンナーレ展 台湾国立美術館
- 2013 「寓話のおやかた—玉分昭光銅版画展—」金沢市湯涌創作の森 版画工房ギャラリー
- 2014 「セミナーヨ現代版画展」入賞 / 15入賞
- 2015 第6回山本鼎版画大賞展 優秀賞
「growing」入善町発電所美術館開館20周年記念展
- 2017 第10回高知国際版画トリエンナーレ 賞候補



「ナリタチービーナス」2015年 80cm×60cm

金沢湯涌創作の森 (版画工房 2階)

〒920-1135 金沢市北袋町エ36番地 tel. 076-235-1116 fax. 076-235-1070
<http://www.sousaku-mori.gr.jp>

交通案内

- 【バス】 JR金沢駅東口3番バス乗り場より、橋場町・小立野経由「湯涌温泉」行きバスで約40分。「創作の森前」下車、徒歩10分。
- 【自動車】 金沢森本I.Cから約30分／金沢東I.Cから約40分／金沢西I.Cから約50分



展示室のご案内

湯涌創作の森 版画工房 2階には、形と大きさの異なる2つの展示室があります。工房で制作した作品の発表はもちろん、各種個展・グループ展など、どなたでもご利用いただける展示用ギャラリーです。

